

PRESSRELEASE

【プレス発表日】

2025年12月9日

【タイトル】

看護学科長の蒔田寛子教授が第13回とよかわ在宅医療・介護ネットワーク講演会に登壇

【ポイント】

- ・東三河地区唯一の看護系大学として、本学が所在する豊橋市に隣接する豊川市において、地域の健康を支える活動の一つとして看護学科長が講演。
- ・高齢社会の大きな課題、「在宅医療・介護」、「救急医療」に関する知見を講演。
- ・地域の医療・介護に従事する多職種関係者を対象に開催

【概要】

行事名：第13回とよかわ在宅医療・介護ネットワーク講演会

演題：「もしものときの救急車～豊川市の救急医療を考える～」

講師：豊橋創造大学保健医療学部看護学科

教授・看護学科長 蒔田寛子 氏

豊川市民病院

救命救急センター統括主任、救急看護認定看護師、救命救急士 山本裕美 氏

日時：2025年12月20日(土)14時00分～16時00分

会場：豊川市民病院1階講堂

参加：無料

対象：豊川市で医療・介護に従事する多職種関係者

※取材時の留意事項 報道機関の取材許可を事前にいただいておりますが、感染予防のため、取材時にはマスクの着用をお願いしております。(厳守)

【本件担当】

豊橋創造大学保健医療学部看護学科

【お問合せ】(報道に関すること)

豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部

地域連携・広報センター

電話：0532-54-9729 FAX：0532-54-9731 メール：chiren@sozo.ac.jp

もしものときの救急車

～豊川市の救急医療を考える～



講師

豊橋創造大学
保健医療学部看護学科
教授・看護学科長

蒔田 寛子氏

○プロフィール

千葉大学看護学部卒業、聖隷クリストファー大学大学院修士課程、博士後期課程修了（看護学博士）。

島田市役所保健師、北里大学病院看護師などを経て、2009年に豊橋創造大学保健医療学部看護学科に着任、2014年より教授、2022年度より現職。

著書●「療養者が望む暮らしを支える地域・在宅看護過程」医歯薬出版、編著者 ●「訪問看護師による在宅療養生活を可視化する」希望実現モデル、医学書院、共著者



講師

豊川市民病院
救命救急センター総括主任
救急看護認定看護師
救急救命士 日本DMAT隊員

山本 裕美氏

○プロフィール

豊川市民病院救命救急センターに所属し、院内の急変対応や呼吸ケアチームとして活動している。令和4年10月よりドクターカーの運行が開始となり病院到着前の医療にも携わる。突然発症する救急の現場において患者、家族への対応や後輩育成にやりがいを感じている。

令和6年能登半島地震では、日本DMAT隊員として2度の派遣を経験した。

12月20日（土）14:00～16:00

参加無料
定員100名

場所 豊川市民病院 1階講堂

対象 豊川市で医療・介護に従事する多職種関係者